

令和6年 第11回	入間市教育委員会定例会会議録
開会・閉会日時	令和6年11月25日(月) 午前10時00分開会・午前11時10分閉会
開会場所	市庁舎 C棟5階 501会議室
議長	中田一平
出席者の氏名及び席次番号 中田一平(教育長) 高山茂(1番) 橋本清美(2番) 山本和人(3番) 齋藤良徳(4番)	
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名 教育部長 浅見泰志 教育部次長 佐藤政史 教育部参事兼教育総務課長 新屋朋徳 教育部参事兼学校教育課長 山崎大志 教育総務課学校統合調整室長 中村正幸 教育部副参事(教職員指導担当) 岡崎公伸 教育部副参事(子ども未来室担当) 井上博子 学校給食課長兼学校給食センター所長 橋本賢司 社会教育課長 浅川英雄 博物館長 大久保卓 図書館長 平岡康子	
欠席した者の氏名 なし	
傍聴人の有・無 有(1名)	
書記	教育総務課 秘書・総務担当 主幹 椿潤

## 議 題 及 び 議 事 の 大 要

次の日程により審議され、主な議題、議事については次のとおり

- 1 開会
- 2 会議録の署名  
定例会（10/24）の会議録 教育長、3番委員署名
- 3 会議録署名者の決定  
本日の署名者 教育長、4番委員
- 4 教育長報告
  - （1）埼玉県都市教育長協議会 第3回定例協議会について
  - （2）入間市教育研究会研究発表会について
  - （3）第2回埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会について
  - （4）扇小学校開校50周年記念式典について
- 5 職務代理者及び委員報告
- 6 事業等報告
  - （1）主要行事予定について
  - （2）令和6年第4回入間市議会定例会について
  - （3）令和6年度一般会計補正予算（第5号）の概要について
  - （4）指定校外就学許可基準に係る学校選択地域一覧の変更について
  - （5）第29回いるま生涯学習フェスティバルの開催について
  - （6）地区公民館文化祭の実施結果について
- 7 事務局報告  
次回の日程 12月定例会 12月25日（水）午後3時00分
- 8 閉会

主な報告及び議事の要旨

開 会	
教育長	ただいまの出席者は5名であります。定足数に達しておりますので、これより令和6年入間市教育委員会11月定例会を開会いたします。
会 議 録 の 署 名	
教育長	10月定例会の会議録について、何かご意見、ご質問はありますか。 (全員なし)
会議録署名者の決定	
教育長	本日、11月定例会の会議録署名者は、教育長と4番委員を指名します。
教 育 長 報 告	
<p>1 埼玉県都市教育長協議会 第3回定例協議会について（11/1 鴻巣市）</p> <p>11月1日、鴻巣市において、埼玉県都市教育長協議会第3回定例協議会が行われました。内容としては、会長及び来賓あいさつ、令和8年度定例協議会開催地及び公立小・中学校職員服務規程の文言整理について事務局から報告があり、その後、講演会が行われました。</p> <p>講演会では、文部科学省初等中等局学校デジタル化プロジェクトチーム課長補佐から、「GIGAスクール構想の現在地と今後」について、説明がありました。直面する課題については、①地域及び学校間の活用率格差、②端末更新及びネットワーク環境の改善、③校務DXの推進、特にクラウド化及び校務系と学習系ネットワークの統合の大きく3点が示されました。</p> <p>本市の学校の活用率は全国平均よりも高いものの、ネットワーク環境及びクラウド化については、同様の課題があり、研究を継続していきます。</p> <p>2 入間市教育研究会研究発表会について (11/8 東金子小・金子小・狭山小・扇小学校、黒須中学校)</p> <p>11月8日、市内5校の小中学校において、入間市教育研究会研究発表会が行われ、市内27校の教職員が参加しました。</p> <p>東金子小学校は「学び伸びる東金子の子 育成～一人一人に確かな「生きる力」～」を研究主題に、算数の授業を核とした学び合い学習の研究を発表しました。</p> <p>金子小学校は「主体的に学び、表現する児童の育成～子どもたちが学びあう国語科の授業の工夫～」を研究主題に学び合い及びICT活用の研究を発表しました。</p> <p>狭山小学校は「進んで学び合う児童の育成～算数科を中心に学ぶ楽しさを実感させる授業実践～」を研究主題に学び合いによる算数科の研究を発表しました。</p> <p>扇小学校は「楽しい授業の展開～教師の主体的な学びが子の最適な学びをつくる～」を研究主題に、教師の主体的な学びと児童の最適な学びの研究を発表しました。</p> <p>黒須中学校は『「考え、議論する道徳の授業づくり」～生徒一人ひとりが自分自身の問題と捉え、向き合う授業を通して～』を研究主題に、道徳の研究を発表しました。</p> <p>5校の素晴らしい研究発表の成果を市内の全校で共有し、より良い授業づくりに役立てていきます。</p> <p>3 第2回埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会について（11/15 さいたま市）</p> <p>11月15日、さいたま市において、第2回埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会</p>	

が行われました。内容としては、埼玉県教育長からのあいさつ、県教育局からの教育行政上の諸課題についての研究協議が行われました。

その後、顕彰式が行われ、埼玉県教育委員会並びに埼玉县市町村教育委員会連合会からの感謝状、文部科学大臣表彰、埼玉県教育委員会表彰の表彰が行われました。

#### 4 扇小学校開校50周年記念式典について(11/16)

11月16日、扇小学校開校50周年記念式典が行われました。昭和50年4月1日開校以来、扇小学校は入間市の中核を担う学校として着実に発展してきました。

記念式典は、扇小学校の50年の歩みの映像紹介から始まり、校長式辞、来賓祝辞、来賓紹介に続き、校歌を斉唱し、厳かに行われました。

扇小学校開校50周年記念式典の特色は、歴代PTA本部を中心とした実行委員会の計画・準備に加え、昨年度から児童による実行委員会を立ち上げ、式典当日も来賓の出迎えから受付、案内、控室及び式典会場の司会を全て有志の児童が行い、堂々とした振る舞いに大きな拍手が起こりました。

式典後は、教育未来会議を私と会場の5・6年生児童全員並びに昨年度実行委員を務めた向原中学校1年生で行い、教育に関する質問に○、×で考えを表現し、その理由などの意見交換を行いました。

自分の考えを壇上でしっかりと発表する児童の姿に、温かい拍手が送られました。自分から進んで式典を運営した児童、児童を信頼して式典を任せた教職員、そしてその両者を温かく包む、中学生・保護者・来賓が一体となることで、子どもたちが自信をもって自走する素敵な教育未来会議となりました。

教育長

何かご意見、ご質問はありますか。  
(全員なし)

#### 職務代理者及び委員報告

教育長

高山職務代理者

職務代理者及び委員の皆様から、何かご報告はありますか。

11月6日、入間地区教育委員会連合会視察研修に参加しました。さいたま市教育委員会並びに戸田市芦原小学校及び戸田市教育委員会を訪れました。

さいたま市では竹居教育長の熱いプレゼンテーションがあり、内容としては、さいたま市は「日本一の教育都市で日本一幸せな子どもを育てる」をスローガンに掲げ、子育て世代に選ばれる年を目指しているとのことでした。さいたま市は人口約135万人、市立小学校104校、中学校58校、高等学校3校、中等教育学校1校、特別支援学校2校合計168校で児童生徒数は約10万4千人という規模です。また、総務省の2023年度住民基本台帳人口移動報告によると14歳以下の転入人口は全国1位、全年齢で第2位となっています。民間会社の住みたい街ランキングでは大宮が2位、浦和が10位だったとのことでした。

さいたま市では英語教育に特に力を入れ「グローバル・スタディ」として、「将来、グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒の育成」を目標とし、「外国の方と英語で積極的にコミュニケーションを図ることができるこども」、「日本やさいたま市の伝統・文化に誇りを持ち、将来にわたり、社会に貢献する子ども」を目指す子ども像としています。平成16年度から試験的に取り組みを開始し、平成30年度から全面実施となっています。具体的には、さいたま市独自の英語カリキュラムを作成し、小学校で34時間～105時間、中学校で157時間の英語学習を行っています。これは小学校では標準学習時間の約2倍、中学校では標準学習時間より51時間も多いこととなります。また、教育の質をさらに向上させるため、教員

で構成される作業部会から独自カリキュラムの問題点を教育委員会に報告させ、その報告を基に教育委員会でカリキュラムの改善を行っているそうです。その他、AETを149名配置しています。

グローバル・スタディの成果としては、英検3級以上を取得している中学3年生の割合が約88%で全国1位の結果となっています。

また、メタバースを活用した不登校支援も実施しており、学びの多様化がなされていました。

続いて、戸田市立芦原小学校を訪問しました。芦原小学校は「児童一人一人の可能性を最大限に引き出し伸ばし共生社会の形成者を育成する学校」を目指す学校像とし、「～全てのこどもたちにとって居場所となるような学校に～ 多様な子供たちも『ふろしきで包み込む』ような『インクルーシブな学校』」を目指しているそうです。驚いたのは、学校内にはドアなど仕切りがなく、廊下と教室が一続きとなっていることです。また全市的にGIGAスクールの推進に力を入れており、教師と児童とのやり取りはタブレット端末で行われ、教室には黒板もチョークもなく、ICT教育の先端といえる教育が行われていました。この他、インクルーシブ教育として特に印象に残っていることは、山下校長先生のプレゼンの中であった「教師が作りたい学級という箱に合わせて児童を育てるという発想からの転換」という言葉でした。子ども達の多様性を受け入れ、ふろしきで包むような学級を作ることを目指す芦原小学校ならではの考えで、教員を勤めたものとして強く印象に残りました。またパレットルームというものがあり、これは元気を取り戻す部屋として、不登校など悩みを抱えている子ども達の居場所として設置しているとのことでした。

授業の中で印象に残ったのは「非同期的」な学びを推進していることです。理科の授業視察では、教員から一通りの説明はありましたが、いざ実験が始まると各グループがそれぞれの進度で実験を行っていました。グループ内では子ども達が真剣に意見を交わしあっていて子ども達の目の色が違っているように感じました。子どもの理解度や興味に合わせた指導があってもいいのかなと思いました。

戸田市教育委員会の視察では、教育委員会制度等に係る戸ヶ崎教育長のプレゼンが特に印象に残っており、「教育委員会活性化の10の心構え」を大事にされているようでした。これは、①議事や報告の追認に終始しない、②「教育委員は教育委員会事務局の上司である」という意識を事務局がもつ、③事務局が知っていて、教育委員が知らないことがないように、壁をなくす努力をする、④事務局で結論が出ていないことでも事前に教育委員に報告し、共に知恵を出し合う、⑤教育委員が主体性を発揮できるよう、発言しやすい環境づくりをする、⑥教育委員会会議では、必ず教育委員提案をいただく、⑦事務局は、できるだけわかりやすく、丁寧な説明を心がける、⑧国や県の通知や最新の教育情報を随時教育委員に提供する、⑨教育委員向けの研修を実施する、⑩会議資料は5日前までに委員の手元に届ける、の10個です。キーワードは活性化と透明性とのことでした。

一方で、個人的な考えとしてはICT教育の推進による影の部分にもしっかり把握し対応しなければならず、入間市は入間市の状況に応じた教育を進めていく必要があると考えました。

もう一点、11月11日に入間市交通安全対策推進協議会のポスター審査会及び総務部会に出席しました。

11月14日に、令和6年度第2回入間市社会福祉協議会理事会に出席しました。

橋本委員

教育長	他に何かありますか。 (全員なし)
事業等報告	
<p>教育部次長より</p> <p>(1) 主要行事予定について 主要行事予定について報告</p> <p>(2) 令和6年第4回入間市議会定例会について 令和6年第4回入間市議会定例会について報告</p> <p>(3) 令和6年度一般会計補正予算(第5号)の概要について 令和6年度一般会計補正予算(第5号)の概要について報告</p> <p>(4) 指定校外就学許可基準に係る学校選択地域一覧の変更について 指定校外就学許可基準に係る学校選択地域一覧の変更について</p> <p>(5) 第29回いるま生涯学習フェスティバルの開催について 第29回いるま生涯学習フェスティバルの開催について</p> <p>(6) 地区公民館文化祭の実施結果について 地区公民館文化祭の実施結果について</p>	
<p>教育長 高山職務代理者</p> <p>社会教育課長</p> <p>齋藤委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>齋藤委員</p> <p>教育長</p>	<p>何かご意見、ご質問はありますか。</p> <p>指定校変更許可基準について、いずれも市街化調整区域の場所に住宅が建築されたことに伴って変更するという事だと思えます。市街化調整区域への宅地を建築するには市の許可が必要ですが、本件では具体的にどういった許可条件にあてはまるか教えてください。</p> <p>許可基準は多数あるため具体的な条文までは分かりません。また、平成15年頃に許可条件の緩和がされていますので、本件でも宅地造成が許可されたものと考えられます。</p> <p>同じく、指定校変更許可基準について、地区を跨いだ変更となりますと、地域づくりやコミュニティへの影響も考えられますが、許可を出すにあたり、地域との調整などは行われたのでしょうか。</p> <p>地域との調整は行われていないと認識しています。許可にあたっては、許可基準に該当するか否かを個別にその家庭の状況に応じた対応を行うこととなります。</p> <p>私が聞いた話ですが、A地区に住んでいる方が、隣接するB地区の学校の方が近いということで指定校を変更して通学していたところ、市に対して地区割の変更までも求めてきたという事案があったそうです。こうした事案がでてしまうと地域づくりにも大きな影響が出てしまいます。学校をどこに作るかという部分で、各地区の中心に学校が建てられていないという問題もありますが、同じ地区内の学校で指定校を変更する場合は特段の問題は起きないと思えますが、本件のように、地区を跨いだ指定校変更については、後々、別の問題が起こる要因となりえますので、意見として申し上げたいと思えます。</p> <p>他に何かありますか。 (全員なし)</p>
その他	
<p>教育長 橋本委員</p>	<p>委員の皆様より、何か報告などはありますか。</p> <p>先ほどの委員報告でお伝えした、社会福祉協議会の理事会の中で令和7年度4月から社会福祉協議会の事業として、就学援助制度として「子どもの夢応援事業」として対象となる世帯に2万円を現金給付すると聞</p>

<p>学校教育課長 教育長</p>	<p>きましたが、改めて説明をお願いしたいです。 当該事業は社会福祉協議会の単独事業ですので詳しい情報はありませんが、協力できることがあれば協力したいと考えています。 他に何かありますか。 (全員なし)</p>
<p>事務局報告</p>	
<p>教育長 教育部長 教育長</p>	<p>事務局より、何か報告はありますか。 12月の教育委員会定例会を12月25日(水)午後3時00分から501会議室で予定しています。 12月の教育委員会定例会への出席について、ご配慮をお願いします。 他に何かありますか。 (全員なし)</p>
<p>閉会</p>	
<p>教育長</p>	<p>以上をもちまして、教育委員会11月定例会を閉会します。</p>